

# 議会だよい



しかべ幼稚園交通安全青空教室が、10月8日に実施されました。  
園児たちは、警察官や交通安全指導員方の見守りのもと、横断歩道の渡り方を学びました。

## 第103号の掲載内容

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| ○第3回定例会等の概要.....2P～4P | ○一般質問.....5P～8P  |
| ○委員会の活動.....9P～11P    | ○質問の追跡調査.....11P |
| ○議員研修会.....11P        | ○会議の出席状況.....12P |
| ○議会の行事.....12P        |                  |

# ～定例会・決算審査特別委員会～

## ～令和7年第3回定例会～

令和7年第3回定例会は、9月11日に招集され、会期を9月17日までの7日間と決め、4人の議員が一般質問を行いました。

また、今期定例会は、令和6年度一般会計決算、特別会計決算等の認定5件について、議長を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会に付託され、審査の結果いずれも原案どおり認定すべきものと決定され、委員長報告のとおり認定されました。

なお、町長より決算認定5件のほかに、承認1件、条例3件、補正予算2件、報告2件、同意1件、その他議案1件の提出と、意見書案1件の審議を行い、全て原案のとおり可決等をし、会期を5日残して閉会しました。

審議された議案等の主な内容は、次のとおりです。

### 決算認定

令和6年度一般会計と各特別会計等の決算認定の概要等は、広報しかべ10月号に掲載されていますので、省略しますが、決算審査特別委員会での主な質疑の内容は、次のとおりです。

#### ◆令和6年度鹿部町一般会計歳入歳出決算認定について

##### ※総務費関係【歳出】

##### ●質疑

##### ●総務・防災課長

新たに購入した土地の利用目的と管理状況は。

##### ●質疑

##### ●町長・企画振興課長

役場庁舎の隣接地を購入し、臨時の駐車場や除雪の堆積場に活用する考えです。

現在、管理は行き届いていませんが、今後、草刈を行なうなど、適正に管理していくきます。

●町長・企画振興課長  
地域活性化起業人が行う商品開発とは。

道の駅のしかべ焼きの開発のほか、青のり、ムール貝等の未利用資源を活用した商品開発に取り組んでいます。

### ●質疑

町のホームページでは、首都圏からの移住者向けの内容が多いが、

移住施策は、首都圏、近隣を問わず実施していますが、近隣向けにも、しっかりと情報発信等をしていきたいと思います。

### ●町長・企画振興課長

地域おこし協力隊は、これまで、何人、定住しているのか。平成25年から開始し、15人を受け入れ、うち9人が定住しています。

公平感や公正性を考えながら、今後、検討していきたいと思います。

### ●質疑

##### ●企画振興課長

##### ●町長

地域おこし協力隊は、こ

れまで、何人、定住してい

るのか。

人を受け入れ、うち9人が

定住しています。

##### ●質疑

##### ●町長

地域おこし協力隊は、こ

れまで、何人、定住してい

るのか。

人を受け入れ、うち9人が

定住しています。

地域おこし協力隊は、こ

れまで、何人、定住してい

るのか。

人を受け入れ、うち9人が

定住しています。

### ●質疑

##### ●町長・企画振興課長

##### ●質疑

##### ●町長・企画振興課長

##### ●質疑

##### ●町長・企画振興課長

### ●質疑

移住定住対策として、事業者向けに民間住宅建築補助金を出しているが、入居者向けに助成を行う考えはあるか。

公平感や公正性を考えながら、今後、検討していきたいと思います。

### ●質疑

高齢者移動支援事業は対象者全員が利用できるようなものにできないのか。

また、交付されたクーポンの使い方がわからないなど、困っている方もいるが。

### ●質疑

##### ●保健福祉課長

もっと利用しやすいよう

に見直しを検討していきた

いと思います。

### ●質疑

##### ●保健福祉課長

もつと利用しやすいよう

に見直しを検討していきた

いと思います。

もつと利用しやすいよう

に見直しを検討していきた

いと思います。

### ●質疑

##### ●保健福祉課長

もつと利用しやすいよう

に見直しを検討していきた

いと思います。

もつと利用しやすいよう

に見直しを検討していきた

いと思います。

### ●質疑

# 決算審査特別委員会

●水産経済課長  
道の駅間歇泉に影響のない程度の湯量を使った部分で、発電できるという結果は。

と思ひたが、見直す者はゐるのか。

●建設水道課長

本町では、ブロツク分け  
高齢者等への支援はできな  
いのか。

また、除雪作業が困難な

●質  
大和のリゾート地区において、消火栓、貯水槽等、一部、使用できない箇所があるが。

# ●町長・防災・デジタル推進室長

では必要になるという考えは持っていますので、検討していきたいと思います。

なお、公民館には一部設置済です（大ホール、事務室、会議室のみ）。



**水産ホームページの更新がされていないが。**

● 水産経済課長 現在、水産ホームページの管理等は漁協に移管していますので、適正な指導をしていきたいと思います。

● 質疑 対象となる家屋等の決定基準を空き家対策支援補助金の

● 土木費関係【歳出】 商工会と協議しながら検討していきたいと思います。

●質疑 いきたいと思います。 また、高齢者の支援については、福祉分野と連携を取りながら、支援できればと思います。

の消防水栓をどう整備するか、消防署と協議を進めていきます。

の近くであり、その川を越えて津波がくる恐れもあることから、慎重に協議を進めていきたいと思います

●質疑

※農林水産業費関係【歳出】

藻場造成事業の効果は。

●水産経済課長

スタートしたばかりの事業で、1年2年で効果が出

●質疑が出ました。  
●水産経済課長  
支援や対策等、今後、検討する考え方はあるか。

し、事業主へ委託し、生活路線の開通を第一に町道の除雪作業を行っています。

## ●防災・デジタル推進室長

●質疑  
●防災・デジタル推進室長  
か。  
プールを町の避難所として指定する考えはあるのか。  
鹿部公園に避難した方の

※ 農林水產業費關係〔歲出〕

が出来ました。

し、事業主へ委託し、生活

●防災・デジタル推進室長

贊疑

# 定例会

## 承認

### ◆令和7年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

令和7年7月30日付で専決処分したもので、歳入歳出それぞれ88万8千円を追加し、予算総額を41億7464万円としました。

内容は、令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島付近の地震による津波警報発令に伴い、避難所運営等、災害対応に伴う経費の追加です。

## 条例

### ◆鹿部町の休日を定める条例等の一部を改正する条例の制定について

災害その他非常の場合にあつて、地元業者の確保が困難となると判断される時に、他市町の給水装置工事事業者による実施を可能とし、早期復旧するとともに、被災地における給水装置工事の適正な実施を図るため、この条例改正に伴い、役場庁舎のほか、中央

### ◆鹿部町給水条例の一部を改正する条例の制定について

災害その他非常の場合にあつて、地元業者の確保が困難となると判断される時

内容は、前年度分の介護給付及び地域支援事業における国庫支出金、道支出金並びに支払基金交付金にかかる精算に伴う追加です。

### ◆令和7年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ941万円を追加し、予算総額を5億696万1千円としました。

## その他の

本条例の一部を改正したものです。

### ◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

内容は、広報しかべ10月号に掲載されています。

## 補正予算

### ◆令和7年度鹿部町一般会計補正予算について

主な内容は、令和7年度税制改正に伴うシステム改修、医療費助成資格情報連携に伴うシステム改修によるものほか、各事業補助金の追加です。

### ◆令和7年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ3270万7千円を追加し、予算総額は42億734万7千円としました。

## 同意(人事)

### ◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について ◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について ◆鹿部町教育委員会委員の任命について

本町が加入している3組合において、江差町・上ノ国町学校給食組合が解散により脱退することに伴い、各組合の規約変更について、議会の議決を求めたもので

### ◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について ◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について ◆鹿部町教育委員会委員の任命について

令和7年9月30日をもつて任期満了となる正村慎悟氏の再任について、満場一致で選任することで同意されました。

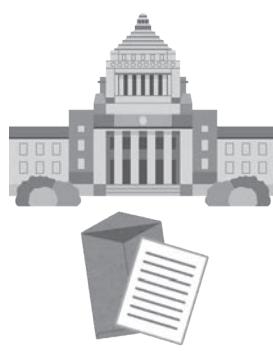
## 意見書の提出

次の意見書を可決し、関係省庁等へ提出しました。

## 報告

### ◆決算に関する附属書類の提出について

地方自治法の規定に基づく令和6年度鹿部町財産に関する調書及び令和6年度における主要施策の成果説明書が提出されました。



### ◆国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書について

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、国土強靭化担当大臣



# 一般質問



木元 光江 議員

## 青のり養殖試験事業について

Q.2 試験事業を継続するのか。

A.2 今年度、継続するか決めたいと思っています。

また、今年度、改善した

製品をサンプルとして各業者に送った結果、評判がいいので、事業主体である漁協のほうで、一時的に引き受け、そのまま、本格稼働に向けて実施していただきたいと思っています。

Q.4 提案をいただいた民間企業への企業誘致の考えはあるのでしょうか。

A.4 民間企業に対して、今のところ、本町で青のり養殖事業をやつてくれないかとその可能性はないわけではないと思っています。

立っています。  
につています。

天然昆布をはじめとする  
浅海資源が減少している中、  
青のり陸上養殖を新たな魚種として確立し、天然昆布採取などの浅海漁業を主とする漁業者の経営の安定を図ることを目的として、令和4年度から3か年計画で

当該事業を進めましたが、3か年の試験結果と今後の方向性等について、お伺いいたします。

Q.3

試験事業は、今年度で終了し、事業化するという方向性という理解でいいか。また、町はいつまで事業費を負担する計画か。

Q.5

試験事業が当初は3年計画だったものが4年に伸び令和7年度に、この販路が確立し、漁協や他の企業が、本格的にやってみようかといつた時であり、漁業推進するうえで、町と漁協が一緒になつてチャレンジしていくましようという私の思いであり、初期経費を回収するような事業としての計画は立てておらず、次につながる事業としての計画を

Q.7 食用だけではなく、カーボンニュートラルの推進等、教育や観光などの分野にもつなげていく考えはありますか。

A.7 しっかりとと考えてきました。また、販路についてもスピード感を持って、情報提供できるところ、協力してもらえるところがあれば、協力してまいりたいと考えています。

Q.6

栄養価は、他の青のりと、ほとんど変わらない成分ですが、北海道で初といふことと、競合商品との差別化について、お聞かせください。

Q.8

養殖漁業は決して簡単なことではないと思いますが、

Q.1 質問と答弁の要約

A.1 令和4年度から開始した青のり養殖試験事業のこれまでの試験結果と今後の方

1年目の令和4年度は、町が事業主体となり、本町の環境下において、青のり陸上養殖が可能という結果となりました。

3年目の令和6年度は、本格稼働に向けた販路の確保を重点的に取り組むこととしましたが、製品に改善等が必要であつたことから、販路の確保までには至らず、令和7年度において、この課題の解決に向けて、試験事業を行うこととしました。

A.3 令和4年度から始めた青のり養殖試験事業のこれまでの試験結果と今後の方

A.6 1年目の令和4年度は、町が事業主体となり、本町の環境下において、青のり陸上養殖が可能という結果となりました。

A.8 1年目の令和4年度は、町が事業主体となり、本町の環境下において、青のり陸上養殖が可能という結果となりました。

# 一般質問

A. 1 津波避難は、原則、徒歩避難を町民の皆様には、お願いしていますが、今回は、自動車避難という避難行動を選択した町民が多くいました。

Q. 2 町での検証結果の進捗状況

A. 3 鹿部バイパスの路上駐車場を及ぼす可能性があります。

Q. 4 町民が避難する際、悪影響を及ぼす可能性があります。

Q. 1 質問と答弁の要約

7月30日に当該地震が発生し、本町においても津波警報が発表され、避難指示が出されました。

町の計画では、原則、徒步避難ですが、一部の避難場所では駐車場が満車になるなど、様々な課題が浮き彫りとなつたと思われますので、検証結果を含め、町長の所見をお伺いいたしました。

7月30日に当該地震が発生し、本町においても津波警報が発表され、避難指示が出されました。

町の計画では、原則、徒步避難ですが、一部の避難場所では駐車場が満車になるなど、様々な課題が浮き彫りとなつたと思われますので、検証結果を含め、町長の所見をお伺いいたしました。

佐藤亘議員

## カムチャツカ半島付近の地震について



A. 2

況は。検証の範囲をどこまで広げますかによって、進捗状況は変わってきますので、何

すので、関係機関と対策を検討していきたいと考えています。

Q. 7

役場庁舎は避難場所として指定されているのか。

A. 7

町の地域防災計画において、役場庁舎は指定避難場所として、指定しています。

Q. 5 津波の観測と、その観測結果の住民周知は。

本町には津波を観測する設備がありませんので、町民に対しても周知はしていませんが、鹿部消防署に、安全確認を徹底したうえで、鹿部漁港で海面監視をしてもらいましたが、海面変動はなかつたという報告を受けています。

Q. 8

避難場所として指定された方がいると、町として災害対応する中で、情報等が外部に漏れたり、誤った情報がSNSで流れてしまふおそれがあると思うが。

Q. 6

避難状況として何割程度の住民が避難したのか。

また、徒步避難と車避難、どちらが正しいのか。

A. 6 避難者数795人で、避難率は22.79%です。

また、避難方法では車避難が多かつたと思っています。車両台数は避難所ですね。車両台数は避難所である大岩地域会館、渡島リハビリ体育館、避難場所である鹿部公園、鹿部飛行場、宿舎を含め324台です。

A. 7 町民が避難する際、悪影響を及ぼす可能性があります。

A. 8 今回1階フロアと3階フロアに、避難された方は滞在していましたが、災害対策本部は2階のフロアに設置し、避難された方は2階フロアへの立ち入りを禁止させていただきました。

しかししながら、ご指摘の通り、様々な心配な点があり、様々な心配な点があります。

その辺も精査しながら、今後、現状の計画の見直しを行なうなど、対応していくと思います。

# 一般質問



盛田 州秀 議員

## 鹿部町の漁業の未来について

調査、資源調査等、漁業者でなくともできる小規模な漁業振興事業も、これからは必要と考えますが、この点についての考えは。

Q.  
4

環境調査は有効性がある  
と思っておりますので、会  
議体で協議してまいりたい  
と思います。

本町は、浅海漁業が盛んな漁業の町となります。しかし、地球温暖化による海水温の上昇など、海洋環境の変化は海洋生態系に大きな影響を与え、本町においても例外ではなく、深刻な問題であります。

そのような中、本町の漁業の未来を考えると、藻場の再現・復活が喫緊の課題であり、過去から様々な事業に取り組んではいますが、より一層の調査・研究・試験等を実施する考えはないのか、町長にお伺いいたします。

本町は、浅海漁業が盛んな漁業の町となります。しかし、地球温暖化による海水温の上昇など、海洋環境の変化は海洋生態系に大きな影響を与え、本町においても例外ではなく、深刻な問題であります。

A.  
1

過去からの様々な事業は、一定の効果はあるものの、漁業者皆さんのが望んでいる藻場の再現には至っていない状況だと認識しています。町として、藻場の再生による漁業への影響は計り知れないものと認識し、他の海域での検証結果など情報収集しながら、藻場の復活性に向け取り組んでいるところですが、それらの事業についてでは、漁協、町と一緒に取り組んでいる漁業振興に関する会議体により、しつかりと進められますこと

あれば1日長いデータにな

A. 以前から漁協で行っている浅瀬における水質検査や天然昆布の周りに、投石や転石し、種を放出する事業等、行政でも行えるのではありますか。

Q. 3 あれば1日長いデータになりますので、その辺も早急に協議してまいりたいと思います。

Q.  
3

**A. 3** 以前から漁協で行つていい  
る浅瀬における水質検査や  
天然昆布の周りに、投石や  
転石し、種を放出する事業  
等、行政でも行えるのでは  
ないかと思いますが。

漁協や現場の漁師さんが苦しい状況の中、町として何ができるのかということを振興会議がありますので、その辺で、しっかりと揉みながら、どういったものがいいのか、色々な方法はあるかと思いますけれども、この効果 자체は、大変、有効だと思いますので、そのやり方、その持続性について、皆さんと協議してまい

つて  
ます。

**A. 4** 波ブロックを取り除くことなど、できないのか。

な話だというところでもついていければ、なんとかなると思いますけど、そのためにも、まずは会議体で専門的に勉強してまいりたいな」と思っています。

**Q.**  
**6**

藻場は多様な生物を育みながら、地球温暖化防止にも役立つており、ウニ、ナマコ、魚類の産卵場所にもなっています。

つています。

が上昇したり、川水の流れが変わるなど、色々な原因が重なつて、今の状況になつたのだと思いますので、様々な実験や環境調査等を実施することを、どのように考えているのか。

漁協、町で構成する会議体で、しつかりと協議できるよう、こちらから働きかけるなど、最善を尽くしてまいりたいと思つてゐるところです。

Q  
1

## ■質問と答弁の要約

海水温の上昇等による海  
洋生物系に大きな影響を与  
える深刻な問題となつてい  
る本町の漁業の未来につい  
て。

Q.  
2

いいのか、色々な方法はあるかと思いますけれども、この効果自体は、大変、有効だと思いますので、やり方、その持続性について、皆さんと協議してまい

が変わるなど、色々な原因  
が重なつて、今の状況にな  
つたのだと思いますので、  
様々な実験や環境調査等を  
実施することを、どのように  
に考へてゐるのか。

漁協、町で構成する会議体で、しつかりと協議できること、こちらから働きかけるなど、最善を尽くしてまいりたいと思っているところです。

# 総務経済部会委員会 所管事務調査

## ◇調査年月日

令和7年7月3日

## ◇調査事項

### 1 水道施設の管理状況について

### 2 青のり養殖の現況について

## ◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、現地視察及び調査を実施した。

## ◇調査の結果

### 1 水道事業の概要

鹿部町水道事業は、簡易水道事業1つで運営している。

給水区域は、海岸沿いに広がる住宅地を中心には、鹿部川表流水から取水し、浄水場で浄水した水を給水している。

## 2 施設の維持管理

「いつも、安全に飲める水の供給に努めます」を基

本理念に、適切な水の供給のため、水質検査を継続し、1日2回の施設の見回り、ウォータービジネスクラウドシステムにより24時間、

水道の施設は、取水施設、浄水施設及び配水処理施設に分類され、配水処理施設は高低差を利用して落差で供給するのが基本であるが、地形上、水圧が弱くなる地区には、水を送り込むためのポンプ場を設置し、日々の水の供給のため稼働している。

### 3 今後の施設更新

鹿部町水道事業経営戦略により、将来10年間の投資計画に基づき実施することとなっている。

### 4 今後の経営見通し

鹿部町水道事業経営戦略に基づく10年間（令和5年度から令和14年度まで）の

投資計画では、令和14年度以降も施設更新には多額の費用が伴い、水道事業を継続するのには、給水人口を維持しても、経営は厳しくなる見通しである。

また、年々、人口、世帯数が減少し、将来的には水道使用料等の減収が見込まれ、更には資材等の高騰などの影響が長引くことによ

り、経費が嵩み、早い段階で経営が圧迫されることも想定され、令和14年度以降、段階を踏んで水道料金の値上げが必要と考え、令和9年度から将来予測に合わせた料金のシミュレーションを進めることとしている。

◇調査意見

全国各地で老朽化による水道管の破損事故等が頻発し、本町においても計画的に水道管等の更新を進めているところであるが、独立採算制のルールにより経営をしなければならない水道事業において、水道管をはじめとする施設の更新に要する経費が増大する一方で、人口減少等による水道使用料の減収等も想定され、経営環境は厳しさを増しつつある。

このことから、水道料金の見直しも視野に入れた経営戦略の見直しの検討に着手する予定となっているが、トータルコスト削減につながるような維持管理の徹底等の経営の効率化も図りながら、将来にわたって、安心安全な施設として維持し、安定的な経営が継続されることを強く望むものである。

## ◇調査の結果2

### 青のり養殖の現況について

#### 1 事業実施の経緯

浅海資源の減少により、新たな産業を創出し、漁業

みとして、鹿部漁港の取水施設の紫外線殺菌した海水や温泉熱を利用が可能などから、令和4年度から青のりの陸上養殖試験事業に着手し、現在に至る。

#### 2 事業概要

6月から11月までの間、

鹿部漁港の一部に100リットルから28トンまでの水槽4種類による陸上養殖を試験的に実施している。

青のりは、成長速度が速

く、さほど手間もかからぬといいう特性があり、1週間で約10倍に成長するため、

成長度合に応じ、大きい水槽へ青のりを移動し、4週間で収穫が可能であり、乾燥後の青のりの重量は10分の1程度となる。

### 3 これまでの実績等

#### (1) 1年目(令和4年度)

町が事業主体で、鹿

部町の環境下で陸上養殖が可能なかの試験を実施し、1回の収穫量10キロを目

標に、収穫実績は約12キロ、合計で5回の収穫をし、陸上養殖が可能であるとの結果を得た。

なお、事業費は約167万円（水槽設備の配管工事等）である。  
事業主体が漁業協同組合で、主に種苗生産技術の確立に取り組んだが、胞子の抽出が難しく、結果として成功には至らず、高知県から種苗を購入し、計2回の収穫であった。なお、町からの補助金は約204万円（種苗保存設備購入費）である。

#### (2) 2年目(令和5年度)

販路確保として、北

海道応援セミナーへの参加により、興味を示した企業と接触できることから、乾燥した製品を持参し、営業を行ったが、製品の乾燥にムラがあり商品としては未完成であつたため、販売までには至らなかつた。

# 委員会の活動

(4) 4年目(令和7年度)  
販売価格設定及び商品開発を軸に実施し、既にホテル等を中心に約20社の企業から問い合わせがある。

町からの補助金は、販売促進事業として約242万円を予算計上している。

## 4 課題と今後の対応

### (1) 種苗生産の確立

当初は、種苗の生産も考えていたが、胞子の抽出が難しく技術を要することから、現在、養殖している青のりの種苗を高知県から購入している。将来的に、種苗の自主生産を行い、コスト削減を図る考えでいる。

### (2) 通年出荷

水温の関係上(青のりの適水温15℃～25℃)、6月から11月までの約半年しか養殖できないことから、将来的には温泉熱等の資源を活用し、通年出荷できる体制を整えると考えている。

### (3) 乾燥工程

漁業者の昆布乾燥機により、青のりを乾燥し

ていたが、出来上がりの製品に乾燥のムラができ、均一の製品制作が難しいことから、メーカー及び町内業者の乾燥機を試験的に使用し、問題なく乾燥できるようであれば、令和7年度中に専用の乾燥機を購入又はレンタルする考えでいる。

## ◇調査意見

本町のみならず、地球温暖化による海水温の上昇により、漁業経営に深刻な影響を与えていた昨今、本町の漁業経営の安定化を図るために開始した当該試験事業は、令和7年度で4年目となり、事業確立に向け、鋭意取り組んでいるが、これまでの当該試験事業を通じて得られた技術やノウハウ、浮き彫りとなつた課題とともに取り組む販路の開拓等の結果を踏まえ、新たな事業としての青のり養殖事業の実現の可能性について、採算性はもちろんのこと、計画性、スピード感をもつた検証が行われることを強く望むものである。

## 民生文教常任委員会 所管事務調査

### ◇調査年月日

令和7年7月3日

### ◇調査事項

#### 1 教育支援センター「マイルーム」の現況について

#### 2 小中学校の暑さ対策について

### ◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、現地視察及び調査を実施した。

### ◇調査の結果1 教育支援センター「マイルーム」の現況について

#### 1 教育支援センター設置の経緯

令和2年度以降、不登校児童生徒数が増加傾向にあ

り、町内において家庭・学校以外に頼れる場所がない、町外への転校を選択せざるを得なくなるなど、心の拠り所がなかつたことから、令和5年4月に鹿部町教育支援センター「マイルーム」を鹿部中央公民館内に設置した。

#### 2 教育支援センターの開設等

開設時間は、平日の午前

9時20分から午後3時までである。運営に要する費用として、令和7年度は614万円の予算を計上している。

また、費用の内訳は、専任の指導員の給与費、カウンセラーへの謝金、子どもたちの活動を支援する講師への謝金、教育相談用の携帯電話使用料等である。

なお、マイルームと学校は日々連携を図り、通所の有無や活動の様子、体調の状況などを学校に報告、マイルームでの活動が学校の出席や学習成績の評価につながることで、継続した通所と学校へのスムーズな接続、将来への不安の解消につなげている。

### 3 不登校児童生徒数の割合

全児童生徒数における不登校児童生徒数の割合は、令和6年度がピークで、小

中学校に在籍する児童生徒数の4.47%で、令和7年5月末現在では、2.1%と減少している。

#### 4 マイルームでの活動内容

学校への復帰を含めた社会的自立につながる活動として、①基本的生活習慣の定着、②基礎学力の補充、③夢中になれる環境、④触れ合いのある日常、⑤相談ができる信頼関係の提供を行っている。

具体的には、①自分で課題を決めて、自分のペース

で学習する自主学習、②各自の趣味や関心に応じた活動を行う自主活動、③地域の様々な大人・地域と関わる体験活動、④学習への不安、日常への不安や心配など、心の変化に寄り添った教育相談等である。

動を行う自主活動、③地域の様々な大人・地域と関わる体験活動、④学習への不安、日常への不安や心配など、心の変化に寄り添った教育相談等である。

なお、マイルームと学校は日々連携を図り、通所の有無や活動の様子、体調の状況などを学校に報告、マイルームでの活動が学校の出席や学習成績の評価につながることで、継続した通所と学校へのスムーズな接続、将来への不安の解消につなげている。

### 5 マイルーム設置の成果

児童生徒の新たな居場所を確保、保護者の不安感の解消、家庭内コミュニケーションの円滑化、学校生活への復帰、学校の不登校支援に対する意識の向上、高等教育機関への接続が挙げられる。

6 今後の課題

教育支援センター「マイルーム」では、学校以外の関係機関と結びついていな

い児童生徒をゼロにすることを最終的な目標としていることから、児童生徒の情報・状況の把握を的確に行

# 委員会の活動・質問の追跡調査・議員研修会

近年、日本の夏は記録的な猛暑が常態化し、熱中症で体調を崩す児童生徒が増加、特に、体育の授業や部活動中の事故で、子どもたちが重症化したり、命を落とすケースが北海道内の学校においても発生し、令和

## ◇ 調査の結果2 小中学校の暑さ対策について

今後も引き続き、子どもたちが健やかに成長し、社会的自立につながるよう、必要な指導援助、新たな不登校を生まない対策の継続と関係機関との連携強化、マイルームの更なる機能の充実を望むものである。

令和5年度に開設し、3年目を迎えたマイルームにおいて、児童生徒及び保護者に寄り添った支援を継続したことにより、不登校が減少している。

◇調査意見  
い、学校や関係機関との連携を強化し、アウトリーチ型支援などを積極的に行うことで、不登校支援の拠点機能をさらに充実させていくことが重要である。

5年度には本町の小中学校においても、幾度となく熱中症厳重警戒レベルに達し午前授業に短縮したり、部活動や学校行事の制限を余儀なくされたことから、熱中症対策ガイドラインを策定し、暑さ対策として、エアコンや扇風機を設置した。

## 2 学校における熱中症対策ガイドライン

学校生活での活動目安として、暑さ指数（W B G T）を用いて、屋外での体育の授業の実施や休み時間の外遊び、部活動の実施の目安としている。

また、環境省と気象庁が共同で発表する熱中症警戒アラートが発せられた場合全教職員への通知に加え協議検討をするなどし、必要に応じて保護者へ通知する対応をとっている。

なお、学校では児童生徒に対しても、屋外活動時や登校時の帽子の着用、通気性の良い服装、定期的に水分補給を促す時間を設けるなどの熱中症防止のための指導や暑い日の運動前には体調チェック表を用いて自らの体調を確認するなどの指導を行つている。

## 2 学校における熱中症対策ガイドライン

策ガイドライン

学校生活での活動目安として、暑さ指数（WBG T）を用いて、屋外での体育の授業の実施や休み時間

育の授業の実施や休み時間の外遊び、部活動の実施の目安としている。

また 環境省と気象庁が  
共同で発表する熱中症警戒  
アラートが発せられた場合  
全放送局への直通で同一場

全教職員への通知に加え協議検討をするなどし、必要に応じて保護者へ通知する旨を記す。

対応をとっている

校時での帽子の着用  
性の良い服装、定期的に水分補給を促す時間を設けるなど熱中症防止の工夫

などの熱中症防止のための指導や暑い日の運動前には体調チェック表を用いて自らの体調を確認するなどの指導を行つてゐる。

◇ 調查意見

合わせて14台、中学校の教室、職員室、校長室に合わせて10台のエアコンを設置した。

なお、中学校体育館の風通しを考慮し、扇風機を3台設置している。

△調査意見

策定した熱中症対策ガイドラインに基づき、各教室にエアコン等を設置し、暑

4  
エアコンの設置状況  
令和4年度では、工事費  
144万円により小学校の  
保健室1台、中学校の保健  
室1台のエアコンを設置し  
た。

4 エアコンの設置状況

令和4年度では、工事費  
144万円により小学校の  
保健室1台、中学校の保健  
室1台のエアコンを設置し  
た。

況に応じた柔軟な対応がつ  
適切なエアコン稼働等によ  
り、子どもたちが、より安  
心・安全で快適な学校生活  
が送られるよう、熱中症リ  
スクの更なる軽減と、より  
よい学習環境が作られるこ  
とを強く望むものである。

のち、現地研修として、認定こども園「はぜる」を視察してまいりました。

10月9日、渡島・檜山町村議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

今年は、北海道立総合研究機構水産研究本部函館水

さ対策を実施しているが、年々、その暑さも増し、これまでとは異なり、夏休み期間の変更や学校生活での活動に制限が加わるなど、まさに夏季の過ごし方が変わる過渡期にある。

夏季における学校生活では、子どもたちの体調に細心の注意を払いながら、様々な暑さ対策を講じているが、指數計を用いた熱中症危険度の判断による対応はもちろんのこと、状

8月4日、令和7年度道  
南地区森林・林業・林産業  
活性化推進議員連盟連絡会  
現地研修会に参加しました

今年は、厚沢部町で開催  
され、事前研修として、「厚  
沢部町の紹介（保育園切  
学）」、「補助金を活用した木  
造公共施設」、「厚沢部町の  
森林整備の取り組み状況」  
と題して講演をいただいたいを

## 質問の追跡調査

令和7年第2回定例会では、追跡調査対象事項がありませんでした。

員の富山嶺氏と青森大学社会  
会学部コミュニケーション創生  
ース教授の佐藤淳氏を講師  
に招き、「調査船が明らか  
にする道南沖スルメイカの  
来遊実態」、「対話する議会  
議員を目指して、SOUN  
Dカード」を活用した、住  
民との意見交換会、議員問  
討議」と題して講演をい  
ただきました。

## 議員研修会

## 令和7年7月から10月まで 本会議、各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席(病欠含む)、△は遅刻・早退、ーは該当なし)

会議	三谷 百十 樹	盛田 州秀	山田 和恵	川村 裕司	千葉 光義	船橋 敦子	木元 光江	浦 梅吉	佐藤 亘
議会運営委員会（9/4）	○	—	○	○	—	○	○	○	○
第3回定例会（9/11）1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務経済常任委員会（9/11）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民生文教常任委員会（9/11）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度決算審査特別委員会（9/11）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度決算審査特別委員会（9/12）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3回定例会（9/12）2日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会（10/22）	○	—	—	○	—	○	○	○	—

## 議会の行事

### 8月

- 4日 道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会現地研修会 (全議員)
- 14日 令和7年度二十歳記念式典 (議長)
- 19日 議会広報研修会 (関係議員)
- 21日 渡島・檜山町村議会議長会連絡会議(議長)

### 9月

- 1日 令和7年第2回南渡島消防事務組合議会定例会 (関係議員)
- 4日 議会運営委員会(全委員及び委員外議員)
- 9日 令和7年度鹿部町敬老会 (議長)
- 11日 第3回定例会（1日目） (全議員)
- 総務経済常任委員会 (全委員及び議長)
- 民生文教常任委員会 (全委員及び議長)
- 決算審査特別委員会 (全委員及び議長)
- 12日 しかべ幼稚園運動会 (議長)
- 決算審査特別委員会 (全委員及び議長)
- 第3回定例会（2日目） (全議員)
- 25日 渡島福祉会第2回理事会 (議長)

- 26日 大漁祈願祭 (議長)
- 28日 第63回北海道障がい者スポーツ大会 (議長)
- 第28普通科連隊創立63周年及び函館駐屯地開庁75周年記念行事 (議長)

### 10月

- 3日 鹿部中学校「海嶺祭（学校祭）」 (議長)
- 9日 渡島・檜山市町議会議員研修会 (全議員)
- 15日 全国漁港漁場大会 (議長)
- 22日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 25日 自民党道連主催 政経セミナー (議長)
- 27日 渡島廃棄物処理広域連合議員全員協議会・第2回議会定例会 (関係議員)
- 31日 民生文教常任委員会所管事務調査 (全委員及び議長)
- 総務経済常任委員会所管事務調査 (全委員及び議長)
- 第4回議員全員協議会 (全議員)

## 議会を傍聴(視聴)してみませんか ～次回定例会は12月上旬に開催予定～

傍聴の手続きは、傍聴席の入口設置の傍聴人受付票に、住所・氏名などを記入するだけです。役場1階多目的スペースに設置の大型テレビでも視聴することができます。

また、鹿部町議会では、町民に開かれた議会を実現するため、本会議の様子をオンライン動画共有サイト「YouTube」でライブ配信と録画配信を行っています。

